

平成24年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年5月10日

上場取引所 大

上場会社名 日本フェンオール株式会社
コード番号 6870 URL <http://www.fenwal.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井口 雅雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 高田 忠夫

TEL 03-3237-3561

四半期報告書提出予定日 平成24年5月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	4,276	20.8	288	52.1	459	132.1	291	—
23年12月期第1四半期	3,539	1.0	189	21.8	197	19.7	64	—

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 401百万円 (—%) 23年12月期第1四半期 31百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	49.47	—
23年12月期第1四半期	10.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第1四半期	14,224	5,839	41.1	990.92
23年12月期	12,822	5,596	43.6	949.76

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 5,839百万円 23年12月期 5,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	27.00	27.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	0.00	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,305	16.9	457	2.9	639	44.2	396	465.7	67.28
通期	16,594	5.8	851	3.5	941	11.6	592	131.3	100.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
以外の会計方針の変更： 無
会計上の見積りの変更： 無
修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期1Q	5,893,000 株	23年12月期	5,893,000 株
期末自己株式数	24年12月期1Q	165 株	23年12月期	165 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期1Q	5,892,835 株	23年12月期1Q	5,892,893 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]P3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興事業が内需を支え、円高の一服で輸出も好転したものの、欧州債務不安の再燃をはじめとし、日米欧による金融緩和効果の減少、米景気回復鈍化懸念増加など、不安要因を抱えたまま推移いたしました。

このような事業環境の下、当社グループにおきましては、中期3ヵ年計画の2年目にあたり、差別化された高付加価値製品の提案型営業を積極的に展開してまいりました。また生産性向上を目的とした工場の大規模改革にも着手いたしました。さらに、国内市場が縮小する中、アジアを中心とする海外への進出準備を進めてまいりました。

以上の結果、受注高は4,296百万円（前年同四半期比22.0%増）、売上高は4,276百万円（前年同四半期比20.8%増）となりました。

利益面におきましては、主要客先における会社更生法適用申請により貸倒引当金が大幅に増加したものの、売上増加にともない売上総利益が増加したことにより、営業利益は288百万円（前年同四半期比52.1%増）、経常利益は、人工腎臓透析装置の一部機種において製造販売権を主要客先に譲渡したことによる譲渡益が100百万円発生した他、急激な円安の進行による為替差益が73百万円発生したこと等により459百万円（前年同四半期比132.1%増）と大幅に増加いたしました。四半期純利益につきましても、経常利益の大幅な増加にともない291百万円（前年同四半期は64百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

SSP (Safety Security Protection) 部門

防災業界におきましては、明るい兆しは見え始めているものの、依然として公共投資及び民間設備投資が本格的に回復するまでには至っておらず厳しい環境で推移いたしました。

このような環境の下、新規顧客開拓に注力すると共に、得意分野であるガス消火設備等を中心に拡販に努めてまいりました。また、既設の消火設備用ポンベの定期点検要領改正にともなう容器弁交換需要が大幅に増加いたしました。

以上の結果、受注高は1,170百万円（前年同四半期比20.2%増）、売上高は1,293百万円（前年同四半期比24.3%増）となりました。

サーマル部門

当該部門の主力市場である半導体業界は、国内の自動車向けマイコン、アナログ系半導体は堅調に推移したものの、デジタル機器、産業機器向けシステムLSIの需要が減少したほか、半導体製造装置は台湾、韓国の需要が減少するなど悪化の傾向に推移いたしました。その結果、当該部門の主力製品でありますセンサー、熱板等の出荷が減少いたしました。

以上の結果、受注高は334百万円（前年同四半期比22.9%減）、売上高は328百万円（前年同四半期比10.2%減）となりました。

メディカル部門

当該部門の主力製品である海外市場向け人工腎臓透析装置は、販売元から代理店へのお荷数量は前年同期比2倍以上に増加したものの、従前販売元での在庫が増加していたため、当社からの出荷が増加するまでには至りませんでした。第2四半期以降は、販売元の在庫も適正状態になることが見込まれるため、当社からの出荷も増加する見込みであります。

以上の結果、受注高は453百万円（前年同四半期比26.0%増）、売上高は334百万円（前年同四半期比16.5%減）となりました。

PWBA (Printed Wiring Board Assembly) 部門

プリント基板の実装と組立が主体の当該部門におきましては、販売先である事務機器業界が、昨年秋に発生したタイの大洪水の影響からいち早く脱却し、生産が拡大したことにとともに、当社グループの受注、売上も大幅に増加致しました。

以上の結果、受注高は2,338百万円（前年同四半期比33.3%増）、売上高は2,320百万円（前年同四半期比33.9%増）と大幅に増加いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は14,224百万円となり、前連結会計年度末12,822百万円に比べ1,402百万円(10.9%)増加しております。主な増加要因は、現金及び預金の増加560百万円(26.1%)、受取手形及び売掛金の増加691百万円(17.1%)であります。

負債総額は8,385百万円となり、前連結会計年度末7,225百万円に比べ1,160百万円(16.1%)増加しております。主要な増加要因は、短期借入金の増加736百万円(53.5%)、支払手形及び買掛金の増加131百万円(3.5%)であります。

純資産合計は5,839百万円となり、前連結会計年度末5,596百万円に比べ242百万円(4.3%)増加しております。主な増加要因は、四半期純利益291百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の業績予想につきましては、平成24年2月10日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成24年5月9日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,150,193	2,710,345
受取手形及び売掛金	4,036,571	4,728,538
完成工事未収入金	1,143,501	881,520
有価証券	78,061	279,963
製品	337,950	371,926
仕掛品	332,165	373,461
原材料	1,594,367	1,677,242
未成工事支出金	691,477	742,606
その他	52,270	178,835
貸倒引当金	1,411	18,688
流動資産合計	10,415,149	11,925,752
固定資産		
有形固定資産	936,751	926,114
無形固定資産	89,358	94,862
投資その他の資産		
投資有価証券	1,074,473	1,005,460
その他	326,900	339,354
貸倒引当金	20,501	67,125
投資その他の資産合計	1,380,872	1,277,689
固定資産合計	2,406,982	2,298,666
資産合計	12,822,132	14,224,419
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,734,170	3,865,314
工事未払金	427,703	477,368
短期借入金	1,375,977	2,112,315
1年内返済予定の長期借入金	66,666	66,666
1年内償還予定の社債	99,000	99,000
未払法人税等	161,775	249,155
賞与引当金	-	84,107
役員賞与引当金	-	5,500
工事損失引当金	7,111	4,130
その他	536,438	650,201
流動負債合計	6,408,842	7,613,760
固定負債		
社債	151,500	102,000
長期借入金	133,334	133,334
役員退職慰労引当金	58,396	61,236
退職給付引当金	432,480	436,062
資産除去債務	22,558	22,577
その他	18,228	16,127
固定負債合計	816,499	771,338
負債合計	7,225,342	8,385,099

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	996,600	996,600
資本剰余金	1,460,517	1,460,517
利益剰余金	3,108,424	3,240,824
自己株式	95	95
株主資本合計	5,565,445	5,697,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,471	166,547
為替換算調整勘定	50,126	25,074
その他の包括利益累計額合計	31,344	141,473
純資産合計	5,596,790	5,839,320
負債純資産合計	12,822,132	14,224,419

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 1 月 1 日 至 平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)
売上高	3,539,095	4,276,458
売上原価	2,877,192	3,440,684
売上総利益	661,902	835,773
販売費及び一般管理費	471,933	546,857
営業利益	189,969	288,916
営業外収益		
受取利息	2,388	2,681
受取配当金	242	539
為替差益	15,854	73,172
製造販売権譲渡益	-	100,000
その他	742	384
営業外収益合計	19,228	176,777
営業外費用		
支払利息	6,019	6,066
社債発行費	5,065	-
貸倒引当金繰入額	-	16
その他	265	396
営業外費用合計	11,351	6,479
経常利益	197,846	459,214
特別利益		
固定資産売却益	-	810
貸倒引当金戻入額	345	-
特別利益合計	345	810
特別損失		
固定資産除却損	-	5
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,100	-
投資有価証券評価損	158,576	-
過年度役員退職慰労引当金繰入額	7,512	-
特別損失合計	188,189	5
税金等調整前四半期純利益	10,002	460,019
法人税、住民税及び事業税	78,186	215,186
法人税等調整額	4,084	46,673
法人税等合計	74,101	168,512
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 ()	64,099	291,507
四半期純利益又は四半期純損失 ()	64,099	291,507

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 1 月 1 日 至 平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 ()	64,099	291,507
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	91,357	85,076
為替換算調整勘定	4,212	25,052
その他の包括利益合計	95,569	110,129
四半期包括利益	31,470	401,636
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,470	401,636

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	S S P 部門	サーマル 部門	メディカル 部門	P W B A 部門	計		
売上高							
外部顧客への売上 高	1,040,585	366,117	399,852	1,732,539	3,539,095	-	3,539,095
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,040,585	366,117	399,852	1,732,539	3,539,095	-	3,539,095
セグメント利益	120,249	67,227	47,409	76,613	311,499	121,530	189,969

(注) 1 セグメント利益の調整額 121,530千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	S S P 部門	サーマル 部門	メディカル 部門	P W B A 部門	計		
売上高							
外部顧客への売上 高	1,293,541	328,716	334,076	2,320,123	4,276,458	-	4,276,458
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,293,541	328,716	334,076	2,320,123	4,276,458	-	4,276,458
セグメント利益	211,542	4,693	34,139	169,610	419,985	131,069	288,916

(注) 1 セグメント利益の調整額 131,069千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。